

20



スキーとニセコ連峰 [ニセコ地域]

北海道人にとって冬のレジャーといえばスキー。雄大なニセコ連峰の雪質は特に素晴らしく、全国のスキー愛好者の人気を呼び、海外のスキーヤーも年々増加。

15



札幌苗穂地区の工場・記念館群 [札幌市]

明治期から「産業のまち」として栄えた札幌市の創成川以東。レンガや札幌軟石造りの建築物も現役で稼働し、貴重な記念館群も往時の面影を今に伝えている。

10



空知の炭鉱関連施設と生活文化 [空知地域]

空知地域は、国内最大の産炭地として最盛期に100炭鉱を数え、日本の近代化を支えた。地域に残る炭鉱遺産は、生産から生活まで多岐にわたる。

21



北限のブナ林 [黒松内町]

ブナは温帯を代表する樹種で、北海道では渡島半島だけに分布。黒松内はその北限で、この北限のブナ林は国指定の天然記念物にもなっている。

16



小樽みなと防波堤 [小樽市]

「港湾工学の父」広井勇により建設された北防波堤は、独特の傾斜ブロック工法を採用した日本初の長大堤防。百年以上を経た今も現役で機能する第一級の遺産。

11



石狩川 [流城市町村]

大雪山系を源とし、上川、空知、石狩の大平野を形成して日本海に注ぐ道内随一の大河川。北海道の歴史と文化が刻み込まれている、母なる川でもある。

22



昭和新山国際雪合戦大会 [杜智町]

ルール・用具開発から企画運営まで、地域住民が主体となって進めている。北海道ならではの冬文化。今では北欧など海外でも「YUKIGASSEN」が開かれている。

17



ニッカウヰスキー余市蒸溜所 [余市町]

昭和11年にウイスキーの製造が開始されて以来、変わらぬ製法で蒸溜、貯蔵を行う。スコットランドを偲ばせる社屋は、当時の社員の手作りによって建設された。

12



江別のれんが [江別市]

大正以降、れんが製造の中心が全道一の陶土地帯である江別へ移り、現在も3つの工場が稼働。市内には、400棟以上のれんが建築物が美しい姿で現存している。

23



登別温泉地獄谷 [登別市]

約1万年前の火山活動によって生まれた爆裂火山口跡。登別温泉最大の源泉でもあり、ここから成分の異なる湯が温泉街の旅館やホテルに給湯されている。

18



積丹半島と神威岬 [積丹半島]

積丹半島は明治から昭和初期にニシン漁の旧大漁場として発達。絶景の海岸美に沿って、番屋、揚場跡、袋洞、トンネル、旧街道などの遺構を見ることができる。

13



北海道大学 札幌農学校第2農場 [札幌市]

日本農業近代化のモデルとしてクラーク博士が構想。模範家畜房(モデルバーン)および穀物庫(コーンバーン)は、明治10年建築。北海道大学でも最古の施設群。

24



内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群

[函館市、伊達市など]

縄文文化の交易路であった内浦湾沿岸。大船遺跡は、集落規模としては国内最大級。また、北黄金貝塚からは、全国的に貴重な「水場の祭祀場」が発見された。

19



京極のふきだし湧水 [京極町]

羊蹄山に降った雨や雪解け水が濾過されて湧き出る国内最大級の湧水。1日の湧水量は8万トンで、30万人の生活水に匹敵。環境庁「名水百選」にも選ばれている。

14



開拓使時代の洋風建築

(時計台、豊平館、清華亭など) [札幌市]

札幌では開拓使の事績を語る建築群が数多く遺され、なかでも時計台のように、都心部にあって市民やまちとともにある姿は、誇るべき歴史遺産といえる。